

観光まちづくりかわら版

富士山と湖と高原のまち—日本の湖水地方—

富士河口湖町の観光に関する興味深い情報やまちづくり情報などを紹介するかわら版です。

観光まちづくり企画提案事業をご紹介します

「観光まちづくり企画提案事業」では、5つの団体が6つの事業を推進しています。今回はNPO法人富士山麓観光まちづくり研究所が行う「河口湖とっておき観光ナビマップの作成・配布事業」と「ミニ FM 放送による紅葉まつりの案内情報提供事業」の2つの事業をご紹介します。

【河口湖とっておき観光ナビマップの作成・配布事業】

この事業は、高速道路の無料化実験を機に特に明確な目的もなく河口湖を訪れる観光客に対して、とっておきな過ごし方を提案するために、地元住民のおすすめ情報とお得情報を盛り込んだ「河口湖とっておき観光ナビマップ」を作成・配布することで、観光客の立寄り先や滞在時間の増加、リピーター化等による観光消費額の増加、ひいては地域の活性化を図ることを目的としています。

特に、旅先での楽しみとして根強い人気がある「名所・景観」「グルメ」「立ち寄り湯」などについて、おすすめ情報やお得な情報を NPO 法人が独自に調査し、わかりやすく地図に掲載されています。また、地図の裏面にはマップの便利な使い方や、施設等の概要(名称、連絡先、施設概要)を示すとともに、詳細情報やお得情報を携帯電話の読み取りコードを活用し提供するなど利便性の向上にも努めています。

このナビマップは、昨年11月に完成し、河口湖周辺の道の駅や、観光案内所など町内の主要観光関連施設等で配付しています。NPO 法人富士山麓観光まちづくり研究所代表の岸野正美さんは「今回のマップは NPO 法人独自の見解で作成しましたが、富士河口湖町には地元住民に親しまれている魅力的な施設や素晴らしいお店、観光名所がまだまだたくさんあります。今回の試行結果をふまえ、今後、地域の拡大や改訂版の発行等も視野に検討していきたい」と話していました。



【ミニ FM 放送による紅葉まつりの案内情報提供事業】

この事業は、主に紅葉まつり会場周辺のドライバーや会場内のお客さんを対象に、ミニ FM 放送を通じて紅葉まつりの楽しみ方やまつり会場の出店・物販情報、会場周辺の食事・ビュースポットなどの観光情報・特典情報などを発信することで、渋滞中のドライバーのストレス解消を図るとともに、紅葉まつりの活性化、周辺地域の活性化を図ることを目的として、紅葉まつりの期間中に実施されました。

紅葉まつりの案内情報としては、紅葉するしくみなどのおもしろ情報をはじめ、もみじ回廊や出展・物販などの会場案内、町内全域で行われたスタンプラリーや紅葉のビューポイント情報など、紅葉まつりと秋の富士河口湖町を存分に楽しんでいただくための情報発信を行いました。

さらに、周辺の観光施設や食事処とタイアップして、FM 放送を聴いた人だけが受けられる様々な特典や、視聴者プレゼントを設けることで、観光客の滞在時間の増加と周辺地域の活性化、リピーターの増加が図られました。

本事業の実施にあたった NPO 法人富士山麓観光まちづくり研究所の早川宏さんは「今回の事業は今後ミニ FM 放送媒体を観光まちづくりに活用するための実証実験としての位置付けでもあります。今後もハード・ソフト両面の技術的な向上に努め、関係者の方々のご協力、ご支援をいただきながら、観光立町のために有意義な事業として発展・継続させていきたい」と話していました。



番組企画検討会議の様子

この他の事業についても随時ご紹介させていただきます。ぜひ今後も観光まちづくり提案事業の進捗にご注目ください。